

であり、2学年間で全ての事項を指導することとしている。」とある。教員経験の浅い段階では、各教科書会社から出ている指導書に掲載された年間指導計画の例を参考に、学校の実態に応じて作り替えるなどするとよい。参考になる年間指導計画を次に示す。

〔表 4〕 年間指導計画の実例（中学校第1学年）

この年間指導計画では、中学校美術科第1学年の年間授業時数45時間を、第1学期の10週まで、週あたり2時間（連続）として計画している。11週以降は1時間である（*）。この時間配分は、各学校の裁量によるもので、実際には様々な方式で実施されている。例えば、週2時間は2時間連続であったり1時間ずつの合計2時間の場合もある。

●中学校 第1学年美術科 年間指導計画（35週／45時間）

学期	月	週	領域 (時数)	題材名	活動の内容	学習の目標 (知識・技能) [知] 知識 [共通事項] [技] 技能 (思考力・判断力・表現力等) [発] 発想や構想の能力 [鑑] 鑑賞の能力 ※学びに向かう力・人間性等は、 [知] [技] [発] [鑑] に向かう力であるのでここでは割愛する。	主な用具など
1学期	4月	1	鑑賞 (2)	オリエンテーション／教科書を見てみよう	教科書を見て美術の学習内容と学び方を理解するとともに、気になった作品についてグループで話し合ってみる。	[知] 多様な作品に、それぞれ作風やイメージがあることを理解する。 [鑑] 選んだ作品のよさや魅力を説明し、作品の見方や感じ方を広げる。	略
		2	鑑賞 (2)	色いろコレクション	校内で気に入った色を探し、その色を絵具で再現し、色の名前を付け紹介し合う。	[知] 色から受け取る感情を基に色の名前が付けられることを理解する。 [技] 絵具の混色で目的の色をつくる。 [鑑] 色に名前を付け、色の感じ方を広げる。	略
	5月	3	絵画 (4)	風を感じて－水彩絵具で表す－	自然の生命感や息吹を感じ取り、その思いを水彩絵具で工夫して表す。水彩絵具の様々な表現方法を学ぶ。	[知] 季節感を表す色彩があることを理解する。 [技] 水彩絵具の技法を工夫して表す。 [発] 描きたい主題を見つけ、どのように表すか考える。 [鑑] 友達の作品のよさを見つけ、見方や感じ方を広げる。	略
4							

1 学 期	5 月	5	彫刻／鑑賞／映像 (4)	針金芯ちゃん の物語り	針金を使って人 体の骨格をつくり、 ポーズを工夫して アニメーションで 物語を表現する。 アニメーションは グループワーク。	[知] 人体の動きや立体の生み出 す空間を理解する。 [技] アニメーションのつくりか たを理解し工夫して表す。 [発] 表したい気持ちから主題を 決め、ストーリーを考える。 [鑑] 映像作品の面白さを味わい、 見方や感じ方を広げる。	タ ブ レ ッ ト	
		6						
	6 月	7	デザイン (5)	マステで ART-アート ブックの表 紙をつくる	マスキングテーブ を貼った上から着 色し、その後、テー ブを剥がしてでき た模様で、アート ブックの表紙を飾 るデザインを考え て表す。	[知] 色彩の組み合わせで美しく 感じる構成ができることを 理解する。 [技] 主題に応じた描画材と技法 で工夫して表す。 [発] 表したい気持ちを基に、基 調色とマスキングテーブで つくる模様を考える。 [鑑] 色彩やテープのマスキが生 み出す形の面白さに気づき、 見方や感じ方を広げる。	略	
		8						
		9						
	7 月	10	デザイン (4)	モジモジコ レクション	様々な形の文字を 採集し、文字の分 類をするとともに、 自分らしい文字を つくり出し、自分 の名前をデザイン し、アートブック の表紙に描く。	[知] 文字の形や色により伝わる 印象が異なることを理解す る。 [技] 文字をつくる用具を工夫し、 自分らしい文字をつくる。 [発] 自分らしい文字の形を考え る。 [鑑] 様々な文字の、伝えたい内 容に応じた形や色のよさや 美しさ、工夫から文字の見 方や感じ方を広げる。	略	
		11*						
		12						鑑賞 (1)
	夏季休業							

2 学 期	9 月	13	彫 刻 (4)	夏休みに出会った生き物たち	夏休みに集めた石や木片、ガラクタなどの形を生かし、想像の生き物をつくり、置き場を考えて写真に撮る。	[知] 形などの特徴から生き物のイメージが生まれることを理解する。	略		
		14				[技] 接着剤や接合の適切な扱い方を知る。材料の特徴を工夫して表す。			
		15				[発] 材料からイメージを広げ、つくる生き物を考える。			
	10 月	16	絵 画 (4)	版画の世界	スチレンボードを使って彫り進み版画を行う。重ねる色や彫りの模様を楽しみながら、版画の魅力に触れ表す。	[鑑] 作品の面白さを写真に撮り、作品の見方を広げる。	[知] 色を重ねるごとにイメージが変わることを理解する。	略	
		17							[技] 版の製法を理解し刷り方や色の組み合わせなどを工夫する。
		18							[発] 主題を考え、主題に合った形や色の重ね方を考える。
	11 月	19	20	21	好きなものコレクション	自分を表すテーマを決め、雑誌などから気になる物を切り抜き、コラージュで自分の世界を表現する。	[鑑] 作品から作者の意図や工夫を感じ取り、作品の見方や感じ方を広める。	略	
		22					[知] 写真などの切り抜きの組み合わせで表したい世界が表現できることを理解する。		
		23					[技] 色や図柄などを生かして表す。		
	12 月	24	工 芸 (3)	編んでカラフルコースター	3色の色画用紙の組み合わせを生かして、生活に使えるコースターをつくり、ラミネート加工をして実際に使った写真を撮る。	[鑑] 友達の作品から表現の工夫を感じ取り、見方を広げる。	[知] 形と色彩の組み合わせで感情や季節感などが表せることを理解する。	略	
		25					[技] 色の組み合わせや編み方を工夫して美しいコースターをつくる。		
		26					[発] 載せる物をイメージしながらデザインを考える。		
			鑑賞(1)	どっちがステキ?	伝統的な器と現代的な器を比較し、用と美の関係を感じ取りながらよさを味わう。	[知] 色や形から生まれる感じ方の違いや、用途に応じた形があることを理解する。	略		
						[鑑] 用と美の観点からそれぞれのよさを感じ取り、器の見方を広げる。			

年末年始休業							
3 学期	1 月	27	工 芸 (4)	ちよつと大きな 「木」ホル ダー	色の異なる3枚の 木を重ねてキーホ ルダーの形を切り 抜く。そのうち2 枚を重ね切断し、 残る1枚にパーツ を市松文様に貼り キーホルダーをつ くる。	[知] 形から生まれるイメージを 理解する。 [技] 美しく表すための木材の切 断と接着、加工を学ぶ。 [発] 自分を表す形と市松模様を 考える。 [鑑] 鞆などに取り付け、作品の 見方や感じ方を広げる。	略
		28					
		29					
		30					
	2 月	31	鑑 賞 (1)	美 術 館 が や っ て 来 る	美術館のレプリカ を借りて、美術館 サポーターのファ シリテーションに より対話しながら 作品鑑賞をする。	[知] 作品の造形的な特徴を、イ メージや作風などで捉えら れることを理解する。 [鑑] 作品の造形的なよさを感じ 取り、表現の工夫などを話 し合い見方や感じ方を広げ る。	
		32	デ ザ イ ン (4)	マイ アート ブック	今までに制作した 作品を編集し、1 年間の学びと自己 表現のアートブッ クを完成する。	[知] 色彩や形の配置などでイ メージが表現できることを 理解する。 [技] 題材ごとの特徴を考え、表 し方や技法などを選択し表 現する。 [表] 題材ごとの学びから各ペー ジの特色を考えてアート ブックの構成を考える。 [鑑] 個性あふれたアートブッ クのよさを感じ取り、美術に 対する見方を広げる。	
	3 月	33					
		34					
		35					

*この年間指導計画では1年間を通して作成した作品や感想などを1冊のアートブックにまとめることを考えている(第4章pp.213-215参照)。

**学期間の題材の運用については、基本的な時数と計画を持ちながら、生徒の進度に応じて前後の題材と平行したり、アートブックの制作を入れたりして柔軟な運用ができるように考えている(次頁参照)。

〔4〕学習の連続性

考え続ける「美術」

学校生活は、各教科、道徳、特別活動、総合的な学習の時間、課外活動等で構成され、子どもたちはそれぞれの学びを自身の中で関連付け総合化して学び成長していく。よって学習計画を考える上では、子